

墨田区の魅力再発見

地域深掘り、教育旅行に活用

由良編集長「『地球の歩き方』としては、東京23区で3番目、城東エリア（東京都東部）では初めての発行です。これまで約160の国と地域についてガイドブックを発行し、国・地域策が楽しめます。そこに江

森山氏「本物が生きる街」で教育旅行を

息を強化したいと考えていますね。地域住民が気づいていない魅力、私たちがまだPRしきれていない魅力も多くの取り上げられてきた地域への魅了を再発見する機会でも活用していたと思いますね。

を「観光に關するは何度
も入れた取り組みは」

黒田昭雄氏（左）と森山理事長

森山理事長 当協会では中
期事業戦略として、202
6年度から2030年度ま
での5年間を対象とする
「観光地経営戦略を策定し
て」しようとしている。其生
と持続可能な観光都市す
みだに、何度でも訪れたい
として住みだした憧れのまち
「を」掲げました。昨年、黒
田氏が策定した基本構想
では「観光に關するは何度
も入れた取り組みは」

オーストラリアの未だ
建設の見える化を進めた
。民泊利用者に体験コン
テツを提供するスキーム
つづも考えています。墨
田区は「民泊のhub出生宅
数が多い。民泊事業者およ
び利用者、共に素晴らしい観
光地を「つぎつぎ」という
ぐらゐの思ひで取り組みま
す。

—を中心としたにぎわい、
函国・本所エリアでは相模
文化、錦糸町エリアでは工
業、ルキッシーなど多国籍感
に注目しています。加えて、
区民の皆さまのご意見を基
に「墨田区あるある」も紹
介しています。その結果、
368件という大ボリューム
となりました。

由長編集長　多くの方に
お読みいただき、本書をき
つねに「墨田区を隅々まで
歩いていただきたいです
ね。一方で「地球の歩き方」
国内版ユニークな特徴とし
て、発売直前は購入者とし
て7割以上が地元の方々と
いうデータがあります。観

田区」発行への期待をお聞かせ下さい。」

山本区長 「地球の歩き方」という著名なガイドブックで墨田区が紹介されていることをとても楽しみにしていました。すみだを訪れるきっかけ、まち歩きの参考にしていただきたいと思います。地域住民が気づいていない魅力、私たちがまだPRされていない魅力も多く取り上げられているので、発行に合わせた情報発信で、光がポテンシャルではなく、魅力を幅広く掘り下げていくように紹介されているのだから、自分たちの街が、気になるようですよ。やっぱりここが紹介されているという納得感とか、知らないことがあったり驚きの面面があります。そうした反応は既存のネットから分かります。地元の方々が地域の魅力を再発見する機会にも活用していただきたいと思いますね。」

シビックプライドの醸成にも



電話：03-5608-6500 mail: KANKOU@city.sumida.lg.jp

